

ゆに おーるど

2015/I
Vol.49

2014年の活動状況

「川崎国際環境技術展 2015」に
参加

世界の国から コートジボワール共和国



コートジボワール アビジャンの子ども達

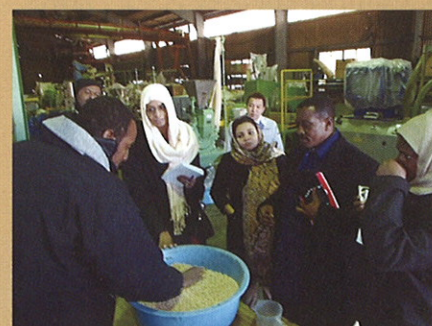
スーダンより大豆加工視察ミッションが来日

2015年1月13日～16日、UNIDO本部の大豆バリューチェーン開発プロジェクトの一環として、スーダン共和国工業省より5名の担当官が来日し、日本の大豆加工や販売の現場を視察しました。

一行は、日本での大豆加工について専門家からの講義を受講した後、きな粉製造工場を視察したり、大豆加工技

術について実習を行なったほか、工場関係者とスーダンへの加工設備・技術導入の可能性についても広く意見を交わしました。

また、訪問先の一般小売店においては、多様な大豆加工製品に触れ、スーダンでの大豆生産・加工の可能性を探りました。



2014年の活動状況

2014年1月～12月の一年間における UNIDO 東京事務所の主な活動をご紹介します。



1 投資・技術移転促進専門官の招聘

下記8か国の政府機関から9名の投資・技術移転促進専門官を日本に招聘し、セミナーでの講演や企業・団体との個別面談などを通じて、現地のビジネス環境や個別の投資・技術案件を紹介しました(氏名、所属団体、招聘期間、促進分野の順に記載)。



チュニジア
モフタル・シュアリ氏
チュニジア外国投資振興庁 (FIPA)
国際マーケティング部長 4月16日～25日
自動車、エレクトロニクス、航空、ICT



レソト
マリーナ・マピツォ・ビザバニ氏
レソト開発公社 (LNDC) 海外投資促進部長
5月19日～27日
農産品加工、繊維、IT、エネルギー



ミャンマー
イー・イー・トウ氏
ミャンマー国家計画経済開発省
投資企業管理局 (DICA) 部長代理
6月4日～19日 農産品加工、IT、繊維



ラオス
パノンコーン・ダララッサミー氏
サワン・セノ経済特区庁長
(投資促進・法務担当) 8月18日～28日
木材・農産品加工、排水・廃棄物処理



ザンビア
フランシス・チコンデ氏
ザンビア開発庁 (ZDA) 投資促進官
10月20日～24日
農業、インフラ、環境技術



バングラデシュ
ラタン・クマール・サルカー氏
チッタゴン上下水道公社 (CWASA)
副総裁 (エンジニアリング担当)
11月10日～15日 給水事業



ミャンマー
ティン・ルウィン氏
マンダレー市開発委員会
建築局長
11月10日～15日 給水事業



南アフリカ
ツェポ・マケネ氏
アフロリンク社 代表
11月10日～15日 給水事業



コートジボワール
ソランジェ・アミーシャ氏
コートジボワール投資促進センター
(CEPICI) 副総裁
11月25日～12月5日
農業、農産品加工、水産養殖、
排水・廃棄物処理

- 「グローバルフェスタ2014」(10月)
- 「グリーン・イノベーション EXPO2014-水イノベーション2014」(11月)

4 キャパシティ・ビルディング

途上国からの視察団や駐日大使館職員を対象とした、セミナー・ワークショップや展示会・工場の視察を実施しました。

- 横浜市内企業視察(3月)
- 横浜市金沢団地及び中小企業視察(4月)
- 「スマートコミュニティJapan 2014」展示会視察とワークショップ(6月)
- 三菱ふそうトラック・バス株式会社川崎工場視察(9月)
- 「スマートシティウィーク2014」展示会視察(10月)
- 横浜市西谷浄水場視察(11月)
- 「エコプロダクツ2014」展示会視察(12月)



2 セミナー、ワークショップ等の開催

下記をはじめとする計34件のセミナー、フォーラム、ワークショップ等を政府関連機関、業界団体などと協力して開催しました。

- UNIDOセミナー「Partner for Prosperity」(3月)
- チュニジア投資セミナー(4月)
- レソト王国ビジネスセミナー(5月)
- セルビアITセミナー(5月)
- ミャンマー投資懇談会(6月)
- 東アフリカ共同体ビジネスセミナー(6月)
- ラオス投資懇談会(8月)

- コロンビア・ペレイラ市ビジネス懇談会(10月)
- UNIDOグリーンテクノロジー・フォーラム(11月)
- UNIDO 海外水セミナー(バングラデシュ、ミャンマー、南アフリカ)(11月)
- コートジボワール・ビジネス機会説明会(12月)

3 技術移転

下記の展示会やイベントに出展し、UNIDOの取組みや日本企業の環境技術などを紹介しました。また、環境エネルギー分野を中心に、日本企業の優れた技術をホームページ上で紹介しました。

- 「川崎国際環境技術展2014」(2月)
- 「スマートコミュニティ Japan 2014」(6月)
- 城南信用金庫「よい仕事おこし」フェア 海外ビジネス支援コーナー(8月)

5 海外からの要人來訪

下記をはじめとする海外からのミッションを受け入れるとともに日本国内での活動を支援しました。

- ペルー国会議員及び工業会代表(3月)
- 東アフリカ・ビジネス・カウンシル幹部(6月)
- セルビア投資輸出促進庁長官(9月)
- エジプト投資・フリーゾーン庁長官(10月)
- トルコ黒海地域開発公社事務局長(10月)
- バングラデシュ・チッタゴン上下水道公社副総裁(11月)
- ミャンマー・マンダレー市開発委員会建築局長(11月)
- ケニア産業化・企業開発省次官(11月)



from the world

世界の国から

コートジボワール共和国

Republic of Côte d'Ivoire



ソランジェ・アミーシャ氏

コートジボワール投資促進センター 副総裁

Ms. Solange M.F. Amichia

Deputy Chief Executive Officer, Investment Promotion Agency, Côte d'Ivoire (CEPICI)

首都 ヤムスクロ
(実質的首都機能はアビジャン)
面積 約322,436平方キロメートル
(日本の約0.9倍)
人口 2,060万人(2012年 UNFPA)
政体 共和制
元首 アラサン・ウワタラ大統領
言語 フランス語(公用語)、各部族語
通貨 CFAフラン



2020年までに新興国入りを目指す

多岐にわたる産業分野

アフリカ大陸西部に位置するコートジボワール共和国は、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)、西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)に加盟しており、南部最大の都市アビジャンを拠点とした物流・交通のハブとして、西アフリカ地域経済の牽引役を担っています。また、同地域の経済大国として9%台の高い成長率を維持しています。隣国との人の出入りが活発であるという背景から、外国文化に対する受容性が高く、様々なスキルをもった人材が豊富です。

主要な産業は、ココア、コーヒー、パームオイル、カシューナッツなどの農産品加工を中心とした製造業ですが、鉄・ニッケル・マンガンなどの地下資源にも恵まれています。その他、観光業、保険セクター、エネルギー関連など、あらゆる分野にビジネスチャンスがあります。

今回は、日本企業の皆さんにコートジボワールのビジネス機会をお知らせするために来日しました。潜在中はコートジボワールでのビジネスに関心を持つ企業と個別に

面談したほか、大阪でセミナーを開催しました。農業、水処理、エンジニアリング、インフラ、エネルギー、製造業等、多岐にわたる企業から反響があり、日本企業の関心の高さを実感しました。

急速に進む投資環境の改善

長年にわたる政治危機を脱したコートジボワールでは、2011年以降、急速な投資環境の改善が進んでいます。治安局の設置やインフラの再構築が行われた結果、2013年の世界銀行の報告書では、投資環境が改善した国のトップ10に入りました。2012年にはワンストップ・ショップ(CEPICI)を設立して手続きの簡素化を図り、立地場所により5年、8年、15年にわたる税の減免制度を設けるなど、投資優遇措置の整備も急速に進めています。

農業分野では、土地を提供して投資を呼び込み、GDPに占める農産品加工分野の割合を現在の20%から50%にまで引き上げる計画です。また、巨額の投資を必要とする鉱業、石油、テレコミュニケーション等の分野ではより大きな優遇措置が用意されています。

コートジボワールは、2020年までの新興国入りを目指しており、民間投資の促進を主軸とした国家開発計画を実施していますが、第1次計画(2012年~2015



グラン・バッサムの歴史都市(写真提供:世界遺産まとめ)

年)の検証の結果、予定よりも早い開発を実現させているため、第2次計画(2016年~2020年)では、さらに積極的な開発が進められる見込みです。

日本とのビジネスに期待

日本人は親切で礼儀正しく、計画通りにビジネスを進める印象があります。また、日本企業は自らのやり方を押し付けるのではなく、現地企業をパートナーとみなして一緒にビジネスを進めようとする姿勢を持っていることに大変感銘を受けました。このような姿勢は現地企業を成長させるという意味でもとても有益だと思います。

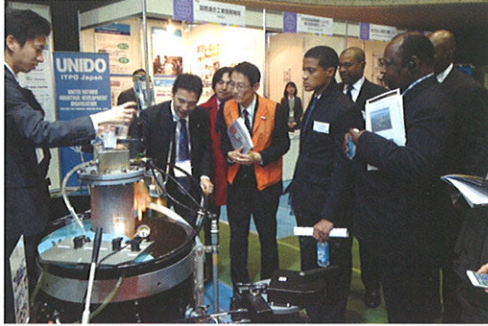
現在日本からは味の素、伊藤忠、豊田通商等の企業が進出し活躍していますが、これからは大企業だけでなく中小企業にも来ていただき、現地の企業と一緒にプロジェクトを組み、ビジネスを展開して欲しいと思います。日本企業の参入により、コートジボワールの市場が活性化することを願っています。



世界遺産・タイ国立公園(写真提供:世界遺産まとめ)

「川崎国際環境技術展2015」に参加

2015年2月5日・6日、UNIDO東京事務所は、「川崎国際環境技術展2015」にビジネスマッチング支援機関の一つとしてブース出展しました。ブースでは、UNIDOが取り組む「低炭素・低排出ク



リーンエネルギー技術移転プログラム(LCETプログラム)」の事例を始めとして、日本企業が有する優れた環境技術を開発途上国で生かしていただくためのUNIDO支援プログラムなどについて、来場者に説明を行いました。

また、2月5日には川崎市の協力のもと、駐日大使館員を対象とした技術展視察ツアーを実施、20大使館から4大使を含む24名が参加しました。

福田紀彦・川崎市長から丁寧な歓迎を受けた後、一行は環境技術を有する出展企業のブー



スをまわり、担当者の説明に耳を傾けました。特に再生可能エネルギー関連技術への参加者の関心が高く、各ブースでは活発に質問を行う大使館員の姿が見られました。

南西アジア3カ国のファッション企業との商談会

2015年1月21日～23日、「インターナショナル・ファッション・フェア」展示会(東京ビッグサイト)にて、バングラデ

シュ、インド、スリランカのファッション企業との商談会が開催されました。

このイベントは、一般財団法人海外産業人材育成協会(HIDA)が主催し、UNIDO東京事務所が後援しました。

参加した17社はいずれもヨーロッパ・北米を中心とした市場にアパレル品、革製品などの輸出実績がありますが、今回は未だ取引が殆どない日本向けの生産委託、製品輸出の可能性を探るために来日しました。3日間の会期中、日本企業

との間で約300件の商談が行われ、数多くの引き合いがありました。



UNIDO東京事務所移転のお知らせ

UNIDO東京事務所は、2015年3月9日より下記住所に事務所を移転しました。電話・FAX番号ともに変更になりましたので、ご注意ください。Eメールアドレスは変更ございません。

新住所:

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前5丁目53-70
国連大学本部ビル8階

電話: 03-6433-5520 (代表)

FAX: 03-6433-5530



国連大学本部ビル(写真提供: 国連大学)

アクセス:

東京メトロ表参道駅
B2出口から徒歩5分、
渋谷駅から徒歩10分

